

人権啓発活動紹介⑤ 足利市人権教育・啓発推進行動計画 [第4期計画]

足利市では、市民一人ひとりが基本的人権を尊重し、お互いの存在や違いを認め合い、支えあい、そしてともに生きることが出来る社会の形成を目指して、これまで人権問題を解決するための諸施策を推進してきました。「足利市人権尊重の社会づくり条例」及び「足利市人権教育・啓発推進行動計画」を平成15年度に策定し、現在は平成28年3月に策定した第4期計画(10年間)にて各施策を実施・推進しているところです。

この行動計画では、「同和問題」や「女性・子ども・高齢者・障がい者・外国人」といった各人権問題などのほか、昨年、熊本地裁にて判決の出た「ハンセン病に関連する人権問題(患者・元患者、その家族に対しての差別や偏見について)」などについても解決するよう、課題ごとの施策に関する基本的事項を掲げています。

毎年、各施策の計画の進捗状況については、関係各課から報告があり、条例で定められた「足利市人権推進審議会」で審議されます。各施策の報告については、まとめ次第、市ホームページに掲載され市民の皆さんにも確認していただけるようになっています。



「人権の花」運動 写真 【足利市立けやき小学校】

- 児童に花をお渡しする人権擁護委員。

「人権の花」運動は、日本全国で実施されています。花を育てることにより人権尊重の意識を育むことを目的として、足利市でも毎年市内の4小学校に花をお渡ししています。

ひとひとのフォーラム足利2020

令和2年12月5日開催予定
足利市民プラザ 小ホール ほか



第1部では、人権に関する書道・ポスター・作文コンクールや男女共同参画キャッチフレーズの入賞者の表彰式、第2部では、映画「パパはわるものチャンピオン」の上映会を行います。

今年度は、新型コロナウイルス感染症への対策として、事前申込制で、先着順での申込みとなっていますので、参加をご希望の方は、市ホームページや広報紙「あしかがみ11月号」をご確認ください。

入賞作品展示ギャラリーは、事前の申込みは不要ですので、皆さんのお越しをお待ちしています。

ご注意

新型コロナウイルス感染症に関連して、このイベントは中止・変更の可能性があります。国・県や足利市の方針で、開催直前の変更なども考えられますので、当日の実施の可否については、足利市ホームページを必ずご確認くださいませよう、お願い申し上げます。

題字の「おもいやり」とは

「足利市には日本遺産・足利学校があります。そして学校には論語があり、今、小学生たちも論語の素読をしています。その論語の中に「恕」*の言葉があります。足利市民は互いに認め合い、思いやり、住み良い、明るい街にしていきたい」との思いから名づけられました。

*「恕」…「思いやり」のこと。

「子貢問いて曰わく、一言にして以て終身之れを行うべき者有りや、と。
子曰わく、其れ恕か。己の欲せざると所、人に施すこと勿かれ、と。」

(書さ下し文：足利市教育委員会編集・発行「論語抄」から)